

分科会

(3つの中から1つご参加ください)

13:30~16:30

16:50~18:45

第一分科会

経営指針

なりゆきの未来と、ありたい未来
～経営指針の真の意義～

父が創業した家業を継ぐかどうか・・・。その専断の中で、様々な仕事にチャレンジしたサラリーマン時代。少しの成功と多くの失敗から、事業の再建の難しさ、経営指針の大切さを実感。家業を継ぐかどうかに関わらず、経営者としての経験が必要だと考え、起業した矢先に体験した大震災。

理想(経営指針)と現実(売上・利益)のはさまで揺れながら気づいた経営指針の真の意義。
自身の半生を振り返りつつ、なぜ経営指針が必要なのか? 会社経営や人生にどのような影響を及ぼすのか?
あたらしい時代に求められる組織の形について一緒にかんがえます。



(株)Co-lab
代表取締役
伊藤 史紀さん
茨城県友会城西支部会員

■設立 2017年
■資本金 100万円
■年商 2,000万円
■社員数 3名
■事業内容 コンサルティング業



第二分科会

社員教育

「社員」×「社長の本気度」=業績UP
～千成屋の付加価値は社員です～

会社の業績を上げるためには、社員のやる気・成長が不可欠と語る矢内社長は、様々な方法で社員を育てることに力を注いでいます。「会社づくりは仲間づくり」をモットーに、時間もお金もかけ、社員と本気で向き合い、時にはケンカしながらも全身全霊をかけて本気で社員教育を続けています。社長が本気で向き合えば、社員も本気で答えてくれる。矢内社長の本気度が自立型社員を育て、業績が毎年良くなっていく。そんな矢内社長の仲間づくりの神髄、どこから始めれば社員のやる気を引き出せるのか? 社員がやる気になるチームづくりとはどんなものなのか? ...「社員だって社会貢献したいんです。」と語る矢内社長の本気の社員教育をぜひ感じてください。



(株)千成屋
代表取締役
矢内 久子さん
茨城同友会城西支部支部長

■設立 1961年
■資本金 1,000万円
■年商 2億円
■社員数 28名(パート・アルバイト 11名含む)
■事業内容 アニバーサリービジネス
(記念日に贈る衣装・着物・撮影)



第三分科会

経営革新

革新と挑戦で想いを形に!!
変われるよ! しぶんから!!
さあ、一步を踏み出そう!

国内初の犬専門治療院【ドッグ整体】はこうして生まれた! 報告者である若尾瑠美さんは愛犬の難病をきっかけに、自分の使命に気づきます。創業時の想いそのままに幾多の困難を経験しながらも【ドッグ整体】や【一般社団法人日本ドッグ予防医学推進協会】という全く新しい市場を開拓し常に進化を続けていいます。グラントデザインである、「治療業界とペット業界に革命を起し日本を健康にする」を夢見るため、日々挑戦を繰り返しています。描いただけじゃ何も変わらない!! そんな彼女の真摯報告の中から、想いを形に! あなたの想いを実現しましょう。



(株)ドッグ整体
(一般社団法人)ドッグ予防医学推進協会
代表取締役/代表理事
若尾 瑠美さん
茨城中小企業家同友会会員

■設立 2014年 / 2014年
■資本金 50万円 / 200万円
■年商 2,000万円 / 500万円
■社員数 3名 / 理事 3名、会員数 93名
■事業内容 犬の治療院/犬の予防医学
ドッグ整体師養成、資格付与管理



「今あることに一手間加え、
それを誇り楽しみ、人生を豊かにする」
これぞ不易流行! 革新的に立たされた干物業界の
若き三代目が挑む新たな挑戦!

東シナ海を望む、豊かな自然に恵まれた人口2万人程の小さな港町・鹿嶋市。鹿嶋市街はかつては活気があふんでいた。そんな商店街に2017年、3階建ての古いビルをリノベーションした複合アンテナショップ「イワシビル」は誕生しました。

二代目社長の父が「会社は継がなくていい。僕の代で終わりにする。」と言う程干物を取り巻く環境は年々厳しさを増し、正博さん本人も「ITで億万長者になる」という野望を持って大学に進学、しかしこのままいくと20年後には干物を食べる人が消え、会社だけでなく地元文化も消えていく。「そんな危機感から阿久根に戻り家業を継ぐ決心をします。」

「若い人にもイワシの丸干しの美味しさをもっと知って貰いたい。」そんな思いから商品開発に没頭し、何度も挫折を味わいながら完成したオリジナル商品「旅野丸干し」は、早速に農林水産大臣賞や天皇杯を受賞。今では都内の有名セレクトショップの店頭にも並びます。

「商品開発やブランディングを考えれば考える程、自分達には理念が必要だということが分かった」という下園さんは、すぐさま同友会の経営指針養成セミナーを受講。「イワシビル」の事業展開や商品開発はもちろん、社員教育についても自社の理念に基づいた理念経営が徹底されています。

「自分しかできないことをやっていたほうが人生は楽しい。」そう語る下園さんの「自分しかできないこと」と、それは「家業を継ぎ地域の食文化の未来を創ること」でした。巧みなデザインやブランディングの奥に流れる想いと、社員と共に取り組む「豊かな地域づくり」の話をぜひお聞きください。



(株)下園陸男商店 常務取締役
下園 正博さん
鹿嶋県中小企業家同友会会員

■プロフィール
昭和14年鹿嶋イワシ丸干し製造がメインの水産加工会社の三代目。7年前に東京に拠点を移し、干物の消費量が落ちる中で時代のライフスタイルに合わせて事業展開を進める。
■設立 昭和46年(1971年)6月8日設立
■資本金 1000万円 ■年商 5億5千万円 ■社員数 78名
■事業内容 主に水産加工品の製造販売



交流会 19:00~21:00

分科会、そして基調講演の終了後は、参加者の交流とさらなる親睦を深めるために親睦会を開催します。
当日は、皆様にお楽しみ頂けるような企画を準備しておりますので、ぜひ万障お繰り合わせの上、ご参加ください。

